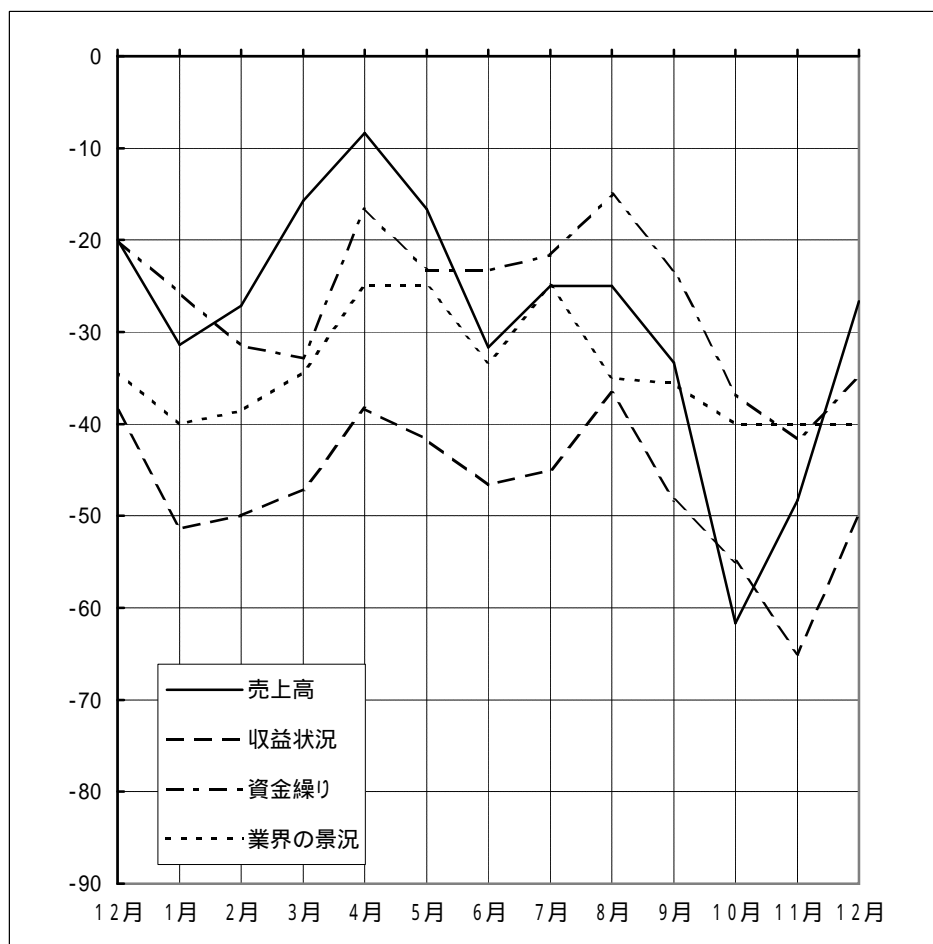


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成15年12月～平成16年12月

単位:ポイント



	h15		h16										
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高	-20.0	-31.4	-27.1	-15.7	-8.3	-16.7	-31.7	-25.0	-25.0	-33.3	-61.7	-48.3	-26.7
収益状況	-38.6	-51.4	-50.0	-47.1	-38.3	-41.7	-46.7	-45.0	-36.7	-48.3	-55.0	-65.0	-50.0
資金繰り	-20.0	-25.7	-31.4	-32.9	-16.7	-23.3	-23.3	-21.7	-15.0	-23.3	-36.7	-41.7	-35.0
業界の景況	-34.3	-40.0	-38.6	-34.3	-25.0	-25.0	-33.3	-25.0	-35.0	-35.6	-40.0	-40.0	-40.0

12月のDI値をみると、前月より「売上高」、「収益状況」、「資金繰り」で好転し、「業況」で不変であった。「売上高」は前月より21.6ポイント好転し、マイナス20%台に推移した。「収益状況」においては、15.0ポイント好転し、マイナス50%台に推移した。「資金繰り」においては、6.7ポイント好転した。ここ3ヶ月間、「業況」を除く上記三項目において、一進一退を繰り返しているが、「業況」が低調に推移していることから、厳しい状況であることが窺える。

組合の特記事項からは、総合的に新潟県中越地震による影響についての報告が多い。「木材・木製品」、「卸売業」、「鉱業」の一部では震災特需により繁忙とする報告があった。だが、「食料品」や「小売業」、「サービス業」の一部では、地震関連で厳しい状況下におかれている。地震関連以外の報告については、全体的に受注量減や先行きの不透明感を懸念する等の報告があった。これらのことから県内の中小企業は、厳しい状況下であることが窺える。